

## 【2025年 世界少年野球大会 大会規定：アラメダ カリフォルニア】

1. 2025年3月31日時点で15歳以下であること。
2. チームは、ブルーまたはゴールドのブラケットに分かれて予選試合を行う。  
各チームは、他のブラケットに属する4チームと対戦する。  
その後、各ブラケットの1位チームは、同じブラケットの4位チームと対戦する。  
各ブラケットの2位チームは、同じブラケットの3位チームと対戦する。  
ブルーブラケットの勝者2チームは、準決勝で対戦する。ゴールドブラケットの勝者2チームも同様。  
ブルーブラケットの勝者は、決勝戦でゴールドブラケットの勝者と対戦する。

### Blue Bracket

- ① アラメダ
- ② メキシコ・ロホ
- ③ 韓国 BSA
- ④ フレスノ

### Gold Bracket

- ① 日本
- ② サンディエゴ
- ③ 韓国 JAY
- ④ イタリア

3. 予選リーグの結果、2チームの勝敗が同じだった場合は、以下の順で勝敗を決める。
  - a)総失点が最も少ないチーム
  - b)総失点が最も多いチーム(1試合最大10点)
  - c)コイントス
4. 各チームは、試合の1時間前には、フィールドに到着していなければならない。
5. ダグアウトに入れるのは、選手・監督・コーチ・スコアラー・バットボーイだけである。
6. 試合は7イニング、または2時間15分で終了する。  
2時間15分を過ぎると新しいイニングを開始することはできない。明らかに時間稼ぎをしているチームがあれば、審判は時間を延長することができる。優勝決定戦は、制限時間を設けない。  
延長戦は、前のイニングの最後にアウトになった選手が、2塁ベースにつく国際方式を採用する。
7. 5回終了後、10点以上リードしている場合は、コールドゲームとする。
8. ピッチャーは、2試合続けて7イニング以上投球することはできない。  
1イニングに1球でも投げた場合は、フルイニング投球したものとみなす。  
ピッチャーがこのルールに違反したと判断された場合、そのピッチャーが登板した試合は没収試合になる。
9. 指名打者(DH)は、試合前に発表される限り、どの選手でも使うことができる。
10. DHを含めてスターティングメンバーは、誰でも同じ打席に入る直することができる。(リエントリー)  
途中交替した選手は、再出場できない。

11. 2アウトでの投手または捕手の為の代走は、現在ラインナップにいない走者でも認める。
12. 守備側は、1試合につき3回のタイムを罰則なしで認められる。  
それ以上のタイムは、ピッチャーは交代しなければならないが、他のポジションでプレイすることはできる。  
負傷の確認や、投手交代させる場合は、カウントされない。
13. 攻撃側は、1イニングにつき1回のタイムが許される。
14. 全チームは、木製バットまたは BBCOR.50 ドロップ3本(チームが持っていない場合は支給)を使用しなければならない。
15. バッターは、スイングするか、アウトになるか守備側によって故意にされる以外、バッターボックスに片足を  
入れておかないといけない。
16. 申告敬遠は、どのカウントでも宣言してもいい。
17. 安全上の観点から、走者はプレート及び塁上でスライディングするか、接触を避けなければならない。
18. フォースプレイの場合、走者は塁に滑り込むか、野手から離れなければならない、いかなる形でも野手の邪魔をしては  
ならない。  
ペナルティー:ボールデッドとなり、走者はアウト(セーフであったとしても)、打者は自動的にアウトとなり、走者は  
投球時にいた場所に戻る。
19. 捕手は、ボールを持っていない限り、プレートをブロックすることはできない。  
ペナルティー:妨害とみなし、走者はセーフになる。
20. その他  
米国チームがプレイする米国高校独自のルールとして以下の2つがある。
  - a) ボークは即座にボールデッドとなり、ノーピッチになる。走者は1つ進塁する。
  - b) ピッチャーが、プレートからサードへのフェイクは合法。
21. 審判は、ルール解釈についてのみ質問を受けるが、ジャッジに対しての抗議は受け付けない。  
協議の結果、審判の判断が最終決定となる。  
不正な選手や投手のイニング超過以外の抗議は認めない。  
  
上記ルールにない事柄は、大会ディレクターが決定する。